商品名　アリピプラゾールOD錠6mg「オーハラ」 医薬品基本情報

薬効	1179 その他の精神神経用剤	一般名	アリピプラゾール6mg口腔内崩壊錠
英名	Aripiprazole OD OHARA	剤型	錠
薬価	11.80	規格	6mg 1錠
メーカー	大原薬品	毒劇区分	(劇)

アリピプラゾールOD錠6mg「オーハラ」の効能・効果

統合失調症

アリピプラゾールOD錠6mg「オーハラ」の使用制限等

1.	昏睡状態、中枢神経抑制剤の強い影響下、アドレナリン投与中＜アナフィラキシー救急治療・歯科浸潤又は伝達麻酔除く＞、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所：使用上の注意 注意レベル：禁止
2.	糖尿病又はその既往、糖尿病の危険因子を有する	記載場所：使用上の注意 注意レベル：相対禁止
3.	糖尿病又はその既往、糖尿病の危険因子を有する、血清プロラクチン濃度が高い、誤嚥性肺炎のリスク、低血圧又はその恐れ・疑い、心・血管疾患又はその恐れ・疑い、痙攣性疾患又はその既往、てんかん又はその既往、糖尿病の家族歴、高血糖、肥満、脱水状態、長期臥床、不動状態、自殺企図の既往、自殺念慮、肝機能障害、高齢認知症、高齢認知症＜平均年齢82．4歳；56～99歳＞	記載場所：使用上の注意 注意レベル：注意

アリピプラゾールOD錠6mg「オーハラ」の副作用等

1.	糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡、口渇、多飲、多尿、頻尿、多食、脱力感、死亡、致命的経過	記載場所：重大な副作用 頻度：頻度不明
2.	死亡、アナフィラキシー、低血糖、脱力感、倦怠感、冷汗、振戦、傾眠、意識障害、低血糖症状、無顆粒球症、深部静脈血栓症、肺塞栓症、静脈血栓症、血栓塞栓症、息切れ、胸痛、四肢疼痛、浮腫、AST上昇、ALT上昇、γ－GTP上昇、Al－P上昇、肝機能障害	記載場所：重大な副作用 頻度：頻度不明

3. 悪性症候群、無動緘黙、強度筋強剛、嚥下困難、頻脈、血圧変動、発汗、発熱、白血球増加、血清CK上昇、ミオグロビン尿、腎機能低下、高熱が持続、意識障害、呼吸困難、循環虚脱、脱水症状、急性腎障害、遅発性ジスキネジア、口周部不随意運動、不随意運動、腸管麻痺、食欲不振、悪心、嘔吐、著しい便秘、腹部膨満、腹部弛緩、腸内容物うっ滞、麻痺性イレウス、横紋筋融解症、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、痙攣、白血球減少

記載場所	重大な副作用
頻度	5%未満

4. 不眠、神経過敏、不安、傾眠、アカシジア、振戦、流涎、ALT上昇、CK上昇、体重増加

記載場所	その他の副作用

5. 記憶障害、びくびく感、夢遊症、悪夢、衝動制御障害、病的賭博、病的性欲亢進、強迫性購買、暴食、性機能不全、吃音、運動過多、精神的機能障害、感覚障害、眉間反射異常、広場恐怖症、無感情、気分動揺、異常行動、下肢静止不能症候群、錐体外路症状、錐体外路障害、反射亢進、起立血圧異常、狭心症、膵炎、歯肉痛、舌障害、歯知覚過敏、血中甲状腺刺激ホルモン増加、卵巣障害、肝炎、黄疸、ケトン尿、尿失禁、過敏症、血管浮腫、蕁麻疹、薬物過敏症、皮膚真菌感染、脱毛、代謝異常、血中ブドウ糖変動、血中インスリン増加、嚥下性肺炎、上気道感染、呼吸困難、眼のチカチカ、糖尿病性白内障、瞬目過多、低体温、疼痛、顎痛、乳頭痛、乳腺炎、外陰膣乾燥、無オルガズム症、死亡、関節脱臼、歯牙破折、筋攣縮、尿路感染、花粉症、関節炎、関節硬直、筋萎縮、脂肪腫、坐骨神経痛、大脳動脈狭窄

記載場所	その他の副作用
頻度	頻度不明

6. めまい、頭痛、うつ病、幻覚、リビドー亢進、リビドー減退、昏迷、自殺企図、攻撃的反応、異常思考、拒食、独語、知覚減退、注意力障害、もやもや感、末梢神経障害、持続勃起、射精障害、勃起不全、失神、感情不安定、錯乱、神経症、妄想、譫妄、躁病反応、精神症状、双極性障害、認知症、健忘、嗜眠、睡眠障害、鎮静、舌麻痺、気力低下、激越、焦燥、興奮、パニック反応、片頭痛、顔面痙攣、錯感覚、寡動、歩行異常、ジストニア、筋緊張異常、ジスキネジア、構音障害、筋強剛、嚥下障害、からだのこわばり、筋緊張、口のもつれ、眼瞼下垂、パーキンソン症候群、眼球挙上、眼球回転発作、頻脈、高血圧、心悸亢進、徐脈、低血圧、起立性低血圧、心電図異常、期外収縮、QT延長、第一度房室ブロック、便秘、悪心、嘔吐、腹痛、下痢、食欲不振、食欲亢進、胃炎、びらん性胃炎、胃腸炎、腸炎、十二指腸炎、消化不良、口内炎、口唇炎、口唇腫脹、腹部膨満、胃食道逆流性疾患、歯周病、赤血球減少、白血球減少、白血球増多、好中球減少、好中球増多、好酸球減少、単球増多、リンパ球減少、リンパ球増多、ヘモグロビン低下、ヘマトクリット値低下、貧血、赤血球増多、好塩基球減少、好塩基球増多、好酸球増多、単球減少、血小板減少、血小板増多、ヘモグロビン上昇、ヘマトクリット値上昇、プロラクチン低下、月経異常、プロラクチン上昇、AST上昇、LDH上昇、γ－GTP上昇、Al－P上昇、脂肪肝、Al－P低下、LDH低下、総ビリルビン上昇、総ビリルビン低下、BUN上昇、BUN低下、蛋白尿、尿沈渣異常、クレアチニン上昇、尿糖、尿ウロビリノーゲン上昇、尿ビリルビン上昇、尿中NAG上昇、尿比重上昇、尿比重低下、血中尿素減少、血中尿酸減少、尿量減少、尿潜血、排尿障害、血尿、膀胱炎、尿閉、頻尿、多尿、発疹、光線過敏性反応、湿疹、紅斑、そう痒症、酒さ、ざ瘡、皮膚炎、皮膚乾燥、皮膚剥脱、乾皮症、皮膚色素沈着障害、脂漏、男性型多毛症、口渇、コレステロール低下、HDL－コレステロール上昇、トリグリセライド上昇、リン脂質低下、多飲症、高血糖、水中毒、高尿酸血症、高脂血症、脂質代謝障害、コレステロール上昇、HDL－コレステロール低下、トリグリセライド低下、CK低下、鼻炎、咽頭炎、気管支炎、気管支痙攣、咽喉頭症状、しゃっくり、鼻乾燥、霧視、眼乾燥、視力障害、眼調節障害、羞明、眼異常感、眼痛、体重減少、倦怠感、脱力感、発熱、多汗、総蛋白減少、グロブリン分画異常、ナトリウム低下、カリウム低下、クロール低下、疲労、ほてり、熱感、灼熱感、背部痛、四肢痛、関節痛、筋痛、頚部痛、肩こり、筋痙縮、悪寒、末梢冷感、性器出血、流産、胸痛、膿瘍、歯ぎしり、睡眠時驚愕、鼻出血、末梢性浮腫、挫傷、気分不良、味覚異常、耳鳴、寝汗、四肢不快感、薬剤離脱症候群、顔面浮腫、握力低下、転倒、総蛋白上昇、A／G上昇、A／G低下、アルブミン上昇、アルブミン低下、ナトリウム上昇、カリウム上昇、クロール上昇

記載場所	その他の副作用
頻度	5%未満

7. 糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡、死亡

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

8. 低血糖、脱力感、倦怠感、冷汗、振戦、傾眠、意識障害、低血糖症状

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

9. 体重変動、体重増加、体重減少

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

10. 口渇、多飲、多尿、頻尿、多食、脱力感、病的賭博、持続的にギャンブルを繰り返す状態、病的性欲亢進、強迫性購買、暴食、衝動制御障害、月経過多、貧血、子宮内膜症、嚥下障害、一過性血圧降下、肺塞栓症、静脈血栓症、血栓塞栓症、哺乳障害、傾眠、呼吸障害、振戦、筋緊張低下、易刺激性、離脱症状、錐体外路症状、流産、嗜眠、血圧上昇、頻脈、嘔吐、一過性意識消失、突然死、死亡、心不全、感染症、肺炎、脳血管障害、脳卒中、一過性脳虚血発作、死亡率上昇、乳腺腫瘍、下垂体腫瘍、副腎皮質腫瘍、胆のう内沈渣、胆のう内沈渣泥状、胆砂、胆石、肝臓に限局性肝結石症

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

アリピプラゾールOD錠6mg「オーハラ」の相互作用

1. 薬剤名等 ： アドレナリン

発現事象	作用を逆転させ血圧降下	投与条件	-
理由・原因	アドレナリンはアドレナリン作動性α、β受容体の刺激剤であり、本剤のα受容体遮断作用によりβ受容体刺激作用が優位となり、血圧降下作用が増強	指示	禁止

2. 薬剤名等 ： 降圧剤

発現事象	相互に降圧作用を増強	投与条件	-
理由・原因	ともに降圧作用を有する	指示	慎重投与

3. 薬剤名等 ： 抗コリン作用を有する薬剤

発現事象	抗コリン作用を増強	投与条件	-
理由・原因	ともに抗コリン作用を有する	指示	慎重投与

4. 薬剤名等 ： ドパミン作動薬

発現事象	ドパミン作動作用を減弱	投与条件	-
理由・原因	本剤はドパミン受容体遮断作用を有する	指示	慎重投与

5. 薬剤名等 ： アドレナリン含有歯科麻酔剤

発現事象	血圧降下	投与条件	-
理由・原因	アドレナリンはアドレナリン作動性α、β受容体の刺激剤であり、本剤のα受容体遮断作用によりβ受容体刺激作用が優位となり、血圧降下作用が増強	指示	注意

6. 薬剤名等 ： 中枢神経抑制剤

発現事象	中枢神経抑制作用	投与条件	-
理由・原因	ともに中枢神経抑制作用を有する	指示	注意

7. 薬剤名等 ： アルコール

発現事象	相互に中枢神経抑制作用を増強	投与条件	-
理由・原因	ともに中枢神経抑制作用を有する	指示	注意

8. 薬剤名等 ： 飲酒

発現事象	相互に中枢神経抑制作用を増強	投与条件	-
理由・原因	ともに中枢神経抑制作用を有する	指示	注意

9. 薬剤名等 ： CYP2D6阻害作用を有する薬剤

発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤の主要代謝酵素であるCYP2D6を阻害するため本剤の血中濃度が上昇	指示	注意

10. 薬剤名等 ： CYP3A4阻害作用を有する薬剤

発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤の主要代謝酵素であるCYP3A4を阻害するため本剤の血中濃度が上昇	指示	注意

11. 薬剤名等 ： CYP3A4誘導作用を有する薬剤

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	本剤の主要代謝酵素であるCYP3A4の誘導により本剤の血中濃度が低下	指示	注意

薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量
Drug Intelligence Reinforce
医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.